

## 会員アンケート実施報告

### 1. 実施概要

- 実施期間：2017年11月1日～11月30日
- 実施対象：日本臨床腫瘍薬学会（2017年11月1日時点の全会員）
- 実施方法：Google フォームを利用、URL を email にて配信
- 設問数全 13 問、所要時間 10-15 分程度、無記名形式
- 配信数：2756 名（事務局より宛名を付記し個別に送信）
- 回答率：27.5%（758 名）

### 2. 回答者について

#### Q8-1. 年齢

	n	%
20代	63	9.5
30代	330	49.6
40代	186	28.0
50代	70	10.5
60歳以上	16	2.4
計	665	

#### Q8-2. 性別

	n	%
男	414	62.4
女	249	37.6
計	663	

#### Q9. 職場の種類

	n	%
病院・診療所	566	85.1
薬局	79	11.9
教育機関	10	1.5
行政機関	2	0.3
製薬企業	2	0.3
製薬企業以外の 臨床開発系企業	1	0.2
学生	0	0.0
その他	5	0.8
計	665	

#### Q12. 現在の職場で、がん患者さんと接する頻度

	n	%
よく関わる	402	60.5
関わる	147	22.1
あまり関わらない	97	14.6
全く関わらない	19	2.9
計	665	

その他：

公益財団法人(1)、小売(1)、臨床支援センター(1)、

薬局本部(1)、大学職員(1)

### Q8-3. 都道府県

	n	%
北海道	35	5.4
青森	4	0.6
岩手	3	0.5
秋田	1	0.2
宮城	9	1.4
山形	2	0.3
福島	8	1.2
埼玉	30	4.7
千葉	47	7.3
茨城	11	1.7
栃木	10	1.6
群馬	9	1.4
東京	102	15.8
神奈川	49	7.6
山梨	3	0.5
新潟	10	1.6
長野	10	1.6
富山	3	0.5
石川	6	0.9
福井	1	0.2
愛知	26	4.0
静岡	9	1.4
三重	9	1.4
岐阜	12	1.9
大阪	30	4.7
京都	13	2.0
奈良	6	0.9
滋賀	6	0.9
和歌山	4	0.6
兵庫	21	3.3
岡山	10	1.6
広島	9	1.4
山口	5	0.8
島根	5	0.8
鳥取	1	0.2
香川	4	0.6
愛媛	11	1.7
徳島	4	0.6
高知	6	0.9
福岡	46	7.1
長崎	6	0.9
佐賀	4	0.6
大分	7	1.1
熊本	9	1.4
宮崎	8	1.2
鹿児島	12	1.9
沖縄	8	1.2
その他	0	0.0
計	644	

### Q10. 職場環境

(職場の種類が「病院・診療所」の方を対象)

#### Q10-1. 病床数

	n	%
20 床未満	2	0.4
20 床以上、200 床未満	51	9.0
200 床以上、500 床未満	261	46.2
500 床以上	250	44.2
無病床	1	0.2
計	565	

#### Q10-2.

がん診療拠点病院、または地域がん診療病院

	n	%
はい	385	68.3
いいえ	179	31.7
計	564	

### Q11. 職場環境

(職場の種類が「薬局」の方を対象)

#### Q11-1.

薬局において調剤に従事する薬剤師の員数

	n	%
1人	4	6.7
2人	2	3.3
3人	5	8.3
4人	8	13.3
5人	13	21.7
6人	6	10.0
7人	2	3.3
8人	1	1.7
9人	5	8.3
10人以上	14	23.3
計	60	

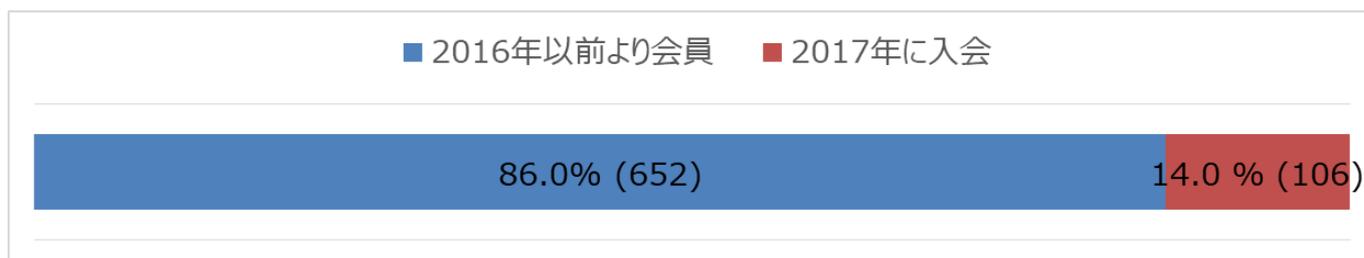
#### Q11-2.

処方せんを受ける主な医療機関の処方せん集中度

	n	%
0% 以上、70 % 未満	24	31.6
70% 以上、90% 未満	23	30.3
90% 以上	29	38.2
計	76	

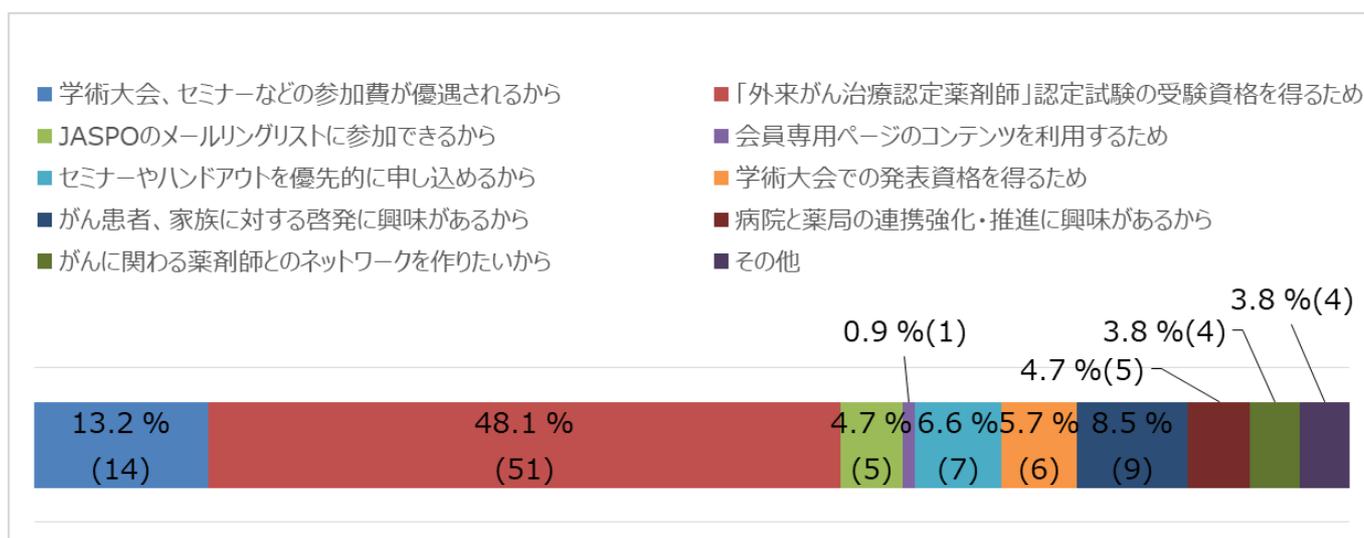
### 3. 集計結果

#### Q1. あなたはいつ入会されましたか？

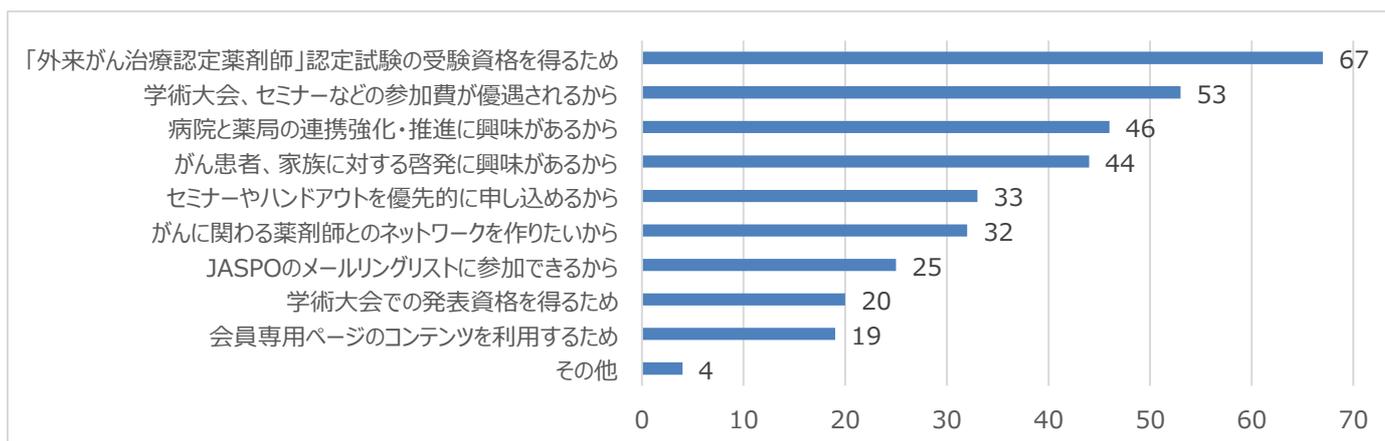


#### Q2. (2017年に入会した方を対象) JASPO への入会理由に関する質問です。

##### Q2-1. JASPO への入会理由はなんですか？最も当てはまるものを1つ選択して下さい。

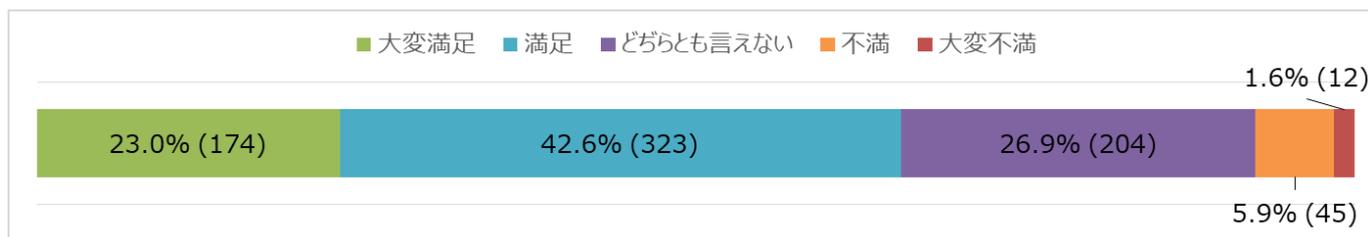


##### Q2-2. JASPO への入会理由はなんですか？当てはまるものを全て選択してください（複数回答可）



### Q3. JASPO のそれぞれの事業への満足度に関する質問です。

#### Q3-1. 学術大会、講演会、セミナー、研修会の開催



#### Q3-2. 病院と薬局の連携強化・推進への取り組み



#### Q3-3. 臨床研究の支援、調査研究の実施に関する取り組み



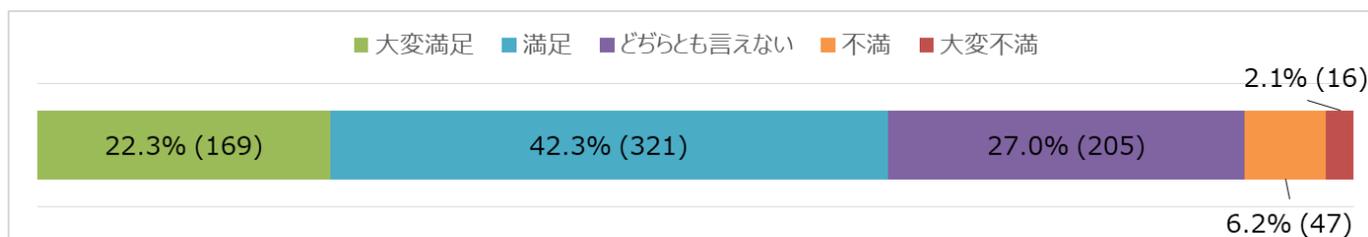
#### Q3-4. 薬剤師または多職種の情報交換、相互交流の推進に関する取り組み



#### Q3-5. がん患者、家族に対する啓発活動



#### Q3-6. 専門性を有する薬剤師の養成・認定に関する取り組み

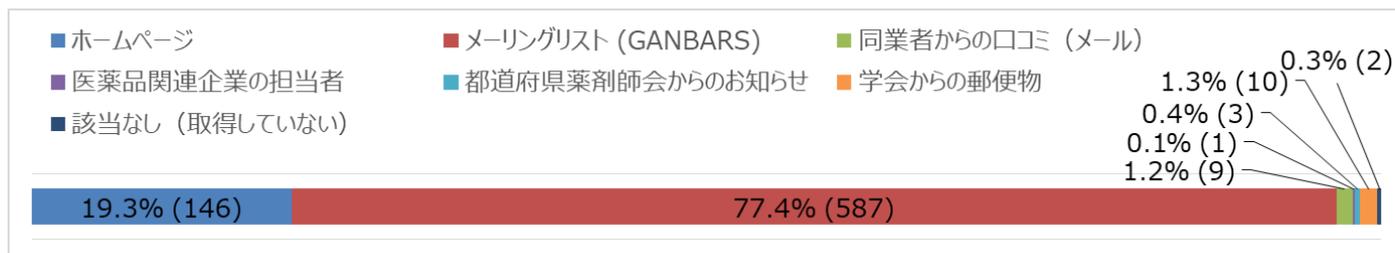


#### Q4. JASPO に入会されてからの、総合的な満足度はどのくらいですか？

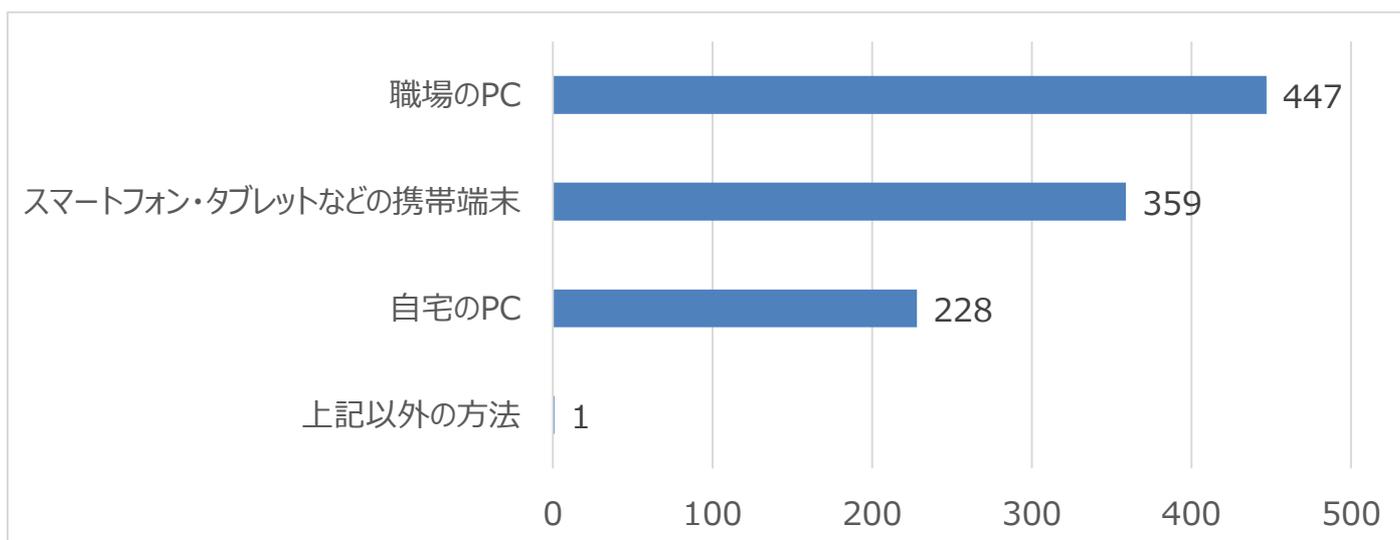


#### Q5. JASPO のお知らせに関する質問です。

##### Q5-1. JASPO からのお知らせを取得する手段として、最も頻繁に使用するものを 1 つ選択して下さい。



##### Q5-2. JASPO からのお知らせをどのような環境でご覧になっていますか？ (複数回答可)



#### Q6. 会費の支払いに関する質問です。

##### Q6-1. 現在の支払い方法は、ゆうちょ銀行または三菱東京 UFJ 銀行への振込ですが、この方法の利便性はいかがですか？



## Q6-2. あらたな会費の支払い方法として、追加した方が良い方法はありますか？

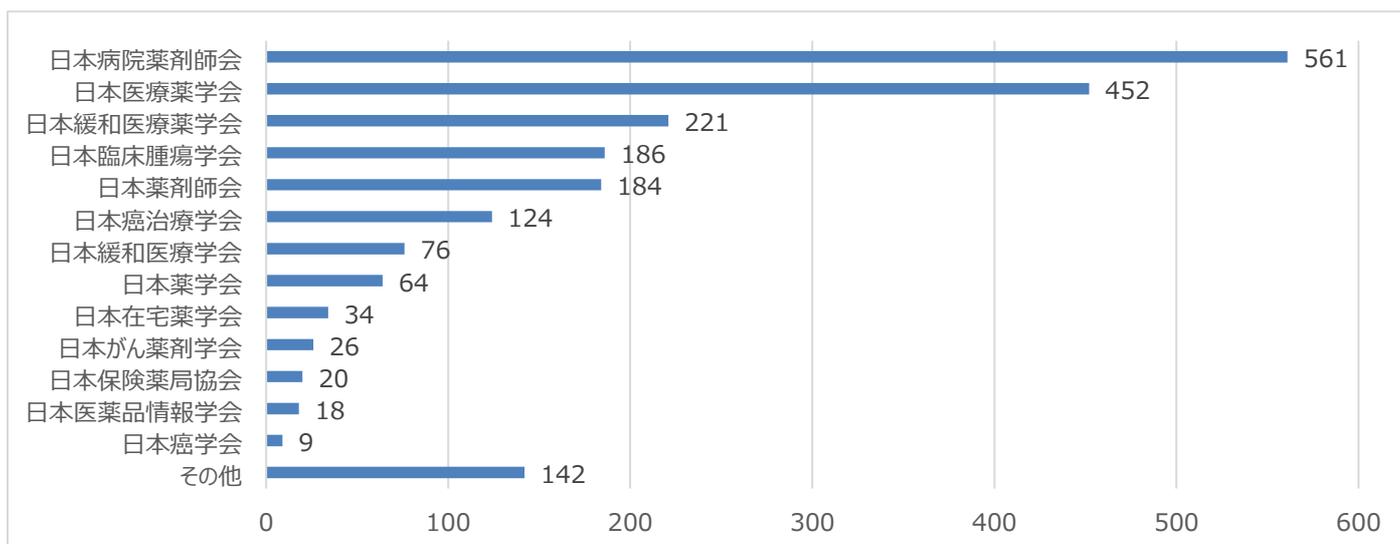


## Q7. 所属している学会および団体について質問です。

### Q7-1. 現在、JASPO 以外の医療系学会および団体に所属していますか？



### Q7-2. 「はい」と回答された方に質問です。現在所属している JASPO 以外の学会または団体を教えてください。



その他：

日本静脈経腸栄養学会(37)、日本腎臓病薬物療法学会(21)、日本化学療法学会(12)、日本がんサポートケア学会(10)、日本乳癌学会(10)、日本肺癌学会(9)、日本臨床薬理学会(8)、日本くすりと糖尿病学会(5)、日本プライマリ・ケア連合学会(5)、日本老年薬学会(5)など

## Q13. JASPO の今後の運営に関して、改善点やご意見ご要望がありましたらお書きください。

### 学術大会、講演会、セミナー、研修会について(87 件)

#### 開催場所について(44 件)

- ・セミナー、研修会が東京（関東）での開催が多い。地方での開催を希望する。(28 件)
- ・セミナー、研修会をインターネットで配信、e-ラーニングの検討を希望する。(11 件)
- ・学会の開催場所については関東圏や京都、大阪、京都など交通の便が良いところを希望する。(2 件)
- ・研修会、セミナー、学術大会どれも満足できるものが多いです。他の学会に比べて満足度は高いです。今後とも開催場所を複数で実施してもらいたいです。
- ・質の高いセミナーが多数開催されていて、たいへん素晴らしいのですが、地方の会員に対する配慮を頂けると助かります。
- ・ブロック大会なども検討しては如何か。

#### 頻度・内容について(17 件)

- ・セミナー、研修会が充実しており満足している。(5 件)
- ・セミナーの内容は検討が必要であるとする。(4 件)
- ・セミナーが乱立しており混乱している。(3 件)
- ・研修会などの開催回数など増やしてほしい
- ・経口抗がん剤の勉強もう少しできればと思います。
- ・知識、階層別のワークショップの開催。中小病院で勤務しているエキスパートから話を聞きたい
- ・面で色々な病院の癌患者さんに関わっている薬剤師向けの、基本的にセミナーを増やして下さい。
- ・治験関係

#### 費用について(8 件)

- ・セミナー、学会参加費の減額を希望する。(7 件)
- ・ビデオ講演会の時であっても参加費が割高な印象があります。テキストがしっかりしているので嬉しいですが。

#### 日程について(8 件)

- ・勉強会、セミナーの年間スケジュールを出して欲しい。(2 件)
- ・年会在年度末で参加しづらいです。
- ・研修は 2 日間での開催要望
- ・研修会を日曜日午後からやるのやめてほしい。帰れない。月曜日仕事に間に合わない
- ・日曜日より土曜日午後の開催のほうがいい。会場は新潟でもやってほしい。
- ・セミナーを三連休中に行ってばかりなのでやめてほしい
- ・地方に住んでいますが、JASPO の勉強会は比較的参加しやすい日時にあるかと思います。今後も地方在住者も参加しやすいような日時での勉強会や地方上映会の開催を行っていただきたいです。

### 参加人数枠について(3件)

- ・人気のセミナーはすぐに満員になるため、席の数を状況に応じて増やしてほしい。現状におかれましても改善に取り組まれていることは理解しております。
- ・研修会の企画やメーリングリストによる情報共有をしていただきありがとうございます。可能であれば近畿地区での研修会の参加者人数枠をもう少し増やしていただけたらと思います。
- ・研修会の参加申し込みがすぐ埋まってしまうので、参加人数増加や場所の追加も検討してほしい

### その他(7件)

- ・セミナーの申込み時に接続がうまくいかなくなることもあるため、改善していただきたい
- ・セミナー、講習会のテキストをカラーにしてほしい。あとで復習するとき解りづらいことがあり、もったいない感じがする。
- ・現在の配布テキストの1ページあたりのスライドが2枚となり分厚くなる。日病薬のがん講義のように配布資料1ページあたりのスライド6枚でカラーが良い。
- ・研究会や集合研修時に託児を希望する
- ・研修会の申込みが大変。研修会の会場によっては席がせますぎる時があります。中の席から出るとき全員が立ち上がる会場は不便。
- ・研修後の報告書回収スタッフと受講証配布スタッフがことなる関係で、危うく受講証をもらい損ねそうになったことがあるので、是非改善頂きたいです。
- ・Essential Seminarの申し込みを会場別でなく一律で会場は第一希望

### 病院と薬局の連携強化・推進への取り組みについて(5件)

- ・調剤薬局と病院の薬薬連携につながるような講座
- ・保険薬局の薬剤師のさらなる参加を促すような企画があるとよいと思っています
- ・薬学部、病院と連携できる機会が欲しい
- ・薬局薬剤師へのJASPO参加への周知を強化してほしい
- ・薬薬連携で1(不満)なのは、個人的には全て院内処方になれば解決する問題だと考えているので、その流れとは現在逆向しているため1としました。

### 臨床研究の支援、調査研究の実施に関する取り組みについて(7件)

- ・大規模臨床試験の経験者が属しているので、薬剤師主導の臨床試験のサポートをしていただくと有り難いです。
- ・30床の病院に勤務しているが急性期で化学療法も行いながら、周術期の薬剤管理も行っているため研究発表にまで手が回らないのが現状である。何とかして発表にこぎつけたい。
- ・研究に関する研修会の講師は、論文数の規定を設けても良いと思います。明らかに本質からずれている講師も
- ・統計や研究発表の実力がつくようなセミナーの数を増やして頂きたいです。また、関西でもエキスパートセミナー等をもっと開催して頂きたいです。
- ・文献の読み方や臨床研究の進め方などの普段あまりない勉強会を企画してほしい。希少がんや移植やモニタリングのポイント等実務に役立つセミナーがあるとありがたいです。
- ・「臨床研究、統計、論文化」研修を更に頻回にお願いします。
- ・保険薬局の薬剤師でがん診療に関わる人が多い人に有益な研修会の開催。臨床研究で倫理審査が必要になるので倫理審査委員会を開催してほしい。

## 薬剤師または他職種の情報交換、相互交流の推進に関する取り組みについて(6件)

- ・大変熱心に運営頂きありがとうございます。がん治療に関する勉強会、情報交換はかなりできてきていると思います。これから対面するであろう在宅を含めた取り組み（患者を地域でどのようにマネージメントしていくか？）、情報交換がこの先出来ていければと思います。
- ・学会とは違った薬剤師間の交流（情報交換できる機会）等を企画してほしい
- ・県や市などの地域ごとのがん専門薬剤師、がん薬物療法認定薬剤師、外来がん治療認定薬剤師の勉強会や集まりなどの企画があると地域での病院と薬局の距離を縮めるきっかけになるように思います。
- ・このアンケートでもそうですが、メーリングリストの名前を GANBARS にしたままにするのは、会員数が増え意味の分からない人が大多数になったいま、やめたほうがよいのではないかと個人的にいつも思います。
- ・メーリングががんセンター病院職員の会話の場になっており、調剤薬局勤務者には遠い世界になっている。もっと調剤薬局の勤務者にも身近な場にして欲しい
- ・論文内容をメーリングリストのような形で閲覧したい（メール受信という形で）

## 専門性を有する薬剤師の養成・認定に関する取り組みについて(20件)

- ・受験資格取得の単位設定が厳しく、費用もかかる。(4件)
- ・認定試験、面接、症例の可否基準が不明確である。症例についてフィードバックを希望する。(4件)
- ・認定試験、面接の日程について。同一日あるいは連日を希望する。もしくは複数日開催を希望する。(2件)
- ・専門や指導薬剤師制度を作って欲しい。(2件)
- ・なかなか調剤薬局で認定取得の為に症例を集めるのが大変です。特に最近は院内に戻す動きが加速しています。在宅も薬局でなく病院も実施していたり薬局での認定取得が今後更に難しくなるように思われます。
- ・広告可能な資格として、「外来がん治療認定薬剤師」がなると良いと思います
- ・調剤薬局でのオンコロジー薬剤師育成にも少し検討お願いします
- ・認定試験の面接官選定方法。
- ・認定制度で症例審査の可否の結果が出るのが遅い。地方からの受審者は航空券や宿泊の手配などが必要です。
- ・認定制度の条件が甘すぎる。
- ・認定制度の推進ではなく、地域医療連携推進について根底から検討の余地あり。
- ・外来がん治療認定薬剤師の資格取得のためにいくつかセミナーがあるが、そこでの運営側の態度にいつも不愉快な気持ちにさせられる。資格取得のために単位が必要となり、こちらはお金を払って参加せざるを得ないので参加しているが、できたら参加したくないといつも感じる。セミナーの内容自体は悪いわけではないが…。先日の大阪でのアップデートセミナーでも資料は届かない、それに対して説明もない、受講者から尋ねると笑いながら軽い謝罪、音響の調整をしていない等々…報告書にも意見を書いたが、運営本部に伝わっているかわからないので、ここで意見をさせて頂きます。これからどんどん受講者が増えて来ると思われ、きちんとした運営、教育をされた方がよいのではないかと思います。

## その他(13件)

- ・クレジットカードによる支払いを希望する。(4件)

### 学会運営等について(9件)

- ・入会した学会の中で、JASPO 程会員のためになる方策をとっておられるのは初めてです。入会させていただいて学習意欲も高まり大変感謝しております。各種講習会は今まで通り、日・祝に実施していただけると助かります。
- ・他の学会よりも、情報収集面において、コストパフォーマンスが良い学会だと感じています。今後もよろしくお願ひ致します。
- ・先進的な取り組みを期待しています
- ・各種委員会活動に参加したい方を公募してみてもいいかでしょうか。委員の選考条件が不透明な気がします。
- ・学会運営に関する情報（理事会・総会・委員会の議事録等）開示を希望
- ・仲間内で企画や学会が運営されている感じが強く排他的なイメージがある。
- ・会員としてのメリットを増やす
- ・地方の薬剤師の意見なども学会に反映していただきたい。
- ・診療報酬対応には満足している